

**資源再生センター(仮称)の完成予想図**

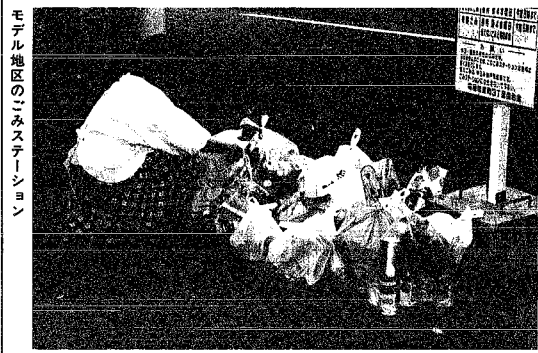
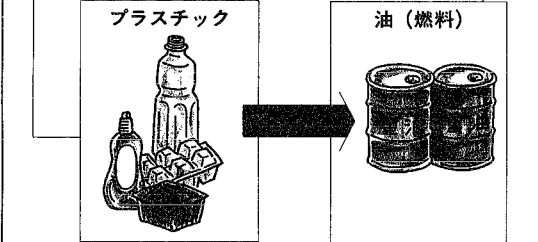
**空きびん・空き缶をリサイクル**

空きびん・空き缶は、現在下木戸地内(東清掃センター隣)に建設中の資源再生センター(仮称)でリサイクルされます。資源回収で集められた空きびん・空き缶は、同センターで種類別に選別した上で、再資源化されます。また、同センターにはリサイクルの啓発施設も設置します。

**プラスチックは油化リサイクル**

家庭から回収されたプラスチックは、油化処理施設で油にリサイクルされます。平成8年4月からプラスチックを粉砕圧縮し、油化処理施設が完成する同年秋から油化処理を開始。年間6,000tのプラスチックが処理できます。

なお、油化リサイクルは人口50万人規模の都市では全国でも初めての試みとなります。



**モデル地区のごみステーション**

六分別収集の実施に先駆け、現在、関屋・曾野木地区では、資源回収を加えたごみ収集を行っています。関屋松波三丁目自治会では週一回「びん・缶」の回収日と「プラスチック」の回収日を設けています。

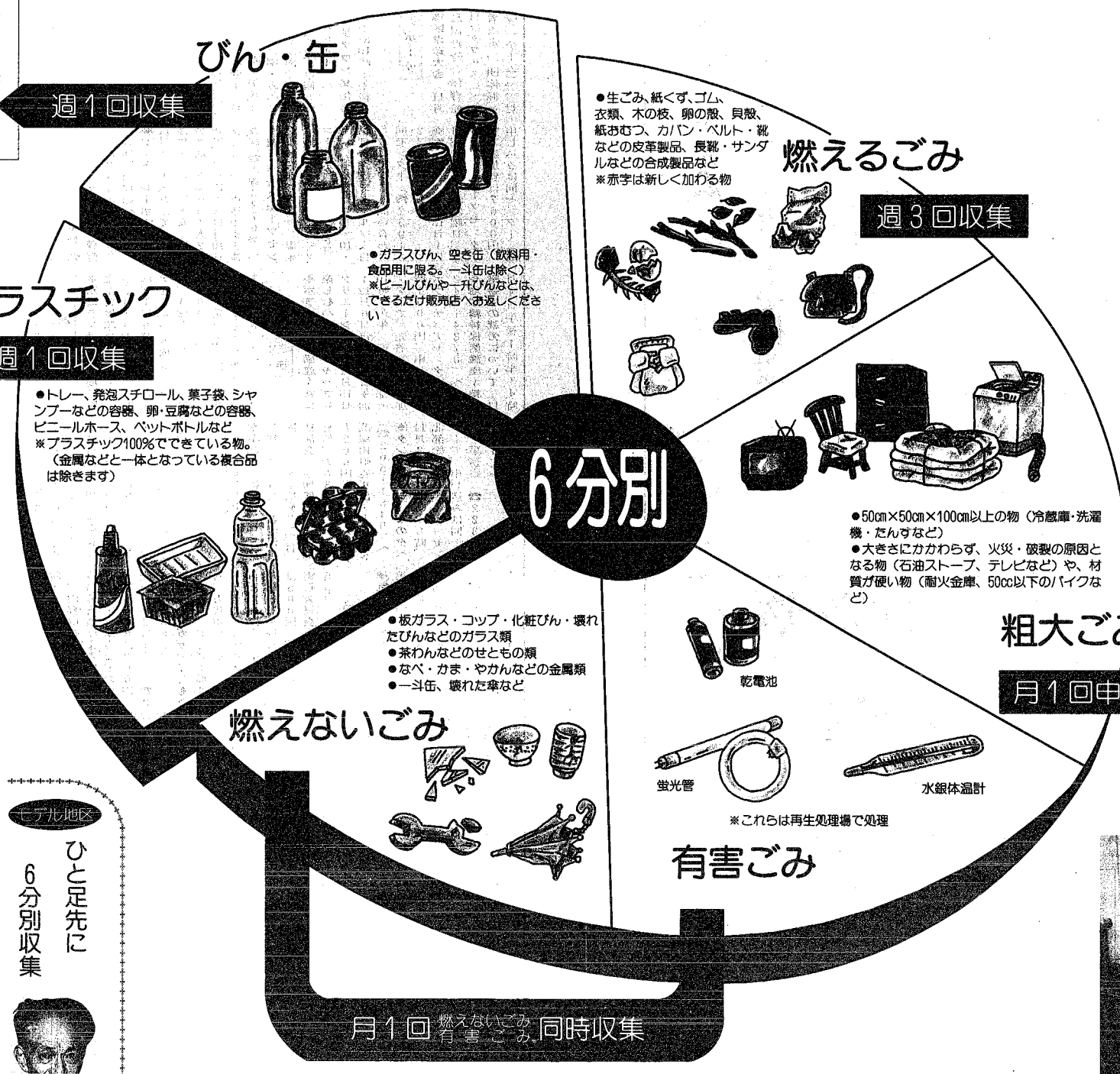
自治会長を務める伏木弘さん(写真)は、「始めのうちは面倒くさいという印象もありましたが、皆さんの協力でうまくいっていますね。皆さん、びん・缶などが資源物としてリサイクルに役立っているという意識でやっています」と話していました。伏木さんは、「ごみが出た際に、すぐに種類別に分けておくなど工夫しているとか」「びん・缶などもすぐに水洗いをしておくと、ごみを出すとき楽です」と一言。

**清掃特集**

**西新潟は8年4月から。9年4月から全市一斉**

**6分別収集に**

**びん・缶の日は新設**  
プラスチック



**ごみの減量・資源化を推進**

年々増え続けるごみ。平成六年度に市で処理されたごみの量は約三十万tに上っています。ごみとして捨てられた物の中には、貴重な資源としてリサイクルできる物が多く含まれていますが、そのほとんどが再利用されることなく、焼却したり埋め立てたりしているのが現状です。

市ではごみの減量化・資源化を推進しようと、平成八年四月から西新潟地区、平成九年四月から東新潟地区を含め全市で、従来の四分別収集から「びん・缶」と「プラスチック」の資源回収を加えた六分別収集を実施します。

**11月から西新潟で説明会**

平成八年四月から実施する西新潟地区では、十一月から来年二月までに自治会・町内会ごとに説明会を行います。事前に各家庭に六分別収集についてのパンフレットを配布しますので、皆さんご参加ください。

**問い合わせ先**  
清掃課(☎内線2754番)

**ごみステーションでの収集を廃止 粗大ごみは戸別収集に**

粗大ごみは、いままでのごみステーションでの収集を廃止し、電話申込による戸別収集に変更します。戸別収集により、粗大ごみをごみステーションに持ち出す必要がなくなるとともに、事業所からの持ち出しや、ほかの地区からの不法投棄を防止します。



**ひと足先に 6分別収集**

伏木 弘さん